

改修内容の整備水準(外部及び内部)

部位		整備水準
鉄筋コンクリート躯体		・ 躯体の状況に応じた適切な補修（コンクリート中性化対策、鉄筋腐食対策など） ・ 適切なかぶり厚さの確保
外壁		・ クラック補修・浮き補修/下地調整 ・ 複層塗材 E（耐久性を高める上塗り材）など、外壁仕上げは長寿命で耐久性に優れた材料・工法
屋上・屋根		・ 劣化に強い塗装や防止剤等など、耐久性に優れた仕上げ及び長寿命で耐久性に優れた材料・工法 ・ 屋上防水は断熱工法とし、断熱材を使用 ・ 維持管理（メンテナンス等）の容易性を確保 ・ 耐震性等を踏まえた太陽光発電パネルの設置
建具	サッシ	・ サッシ更新/金物交換、安全対策、防水性・水密性を確保するためシーリング撤去・更新 ・ 事故防止、防犯性能の確保
	ガラス	・ 複層ガラス（状況により高機能ガラス検討） ・ 強化ガラス等による安全性の確保
教室	間仕切り壁	・ 利便性、耐久性に優れた材料に更新 ・ 通風を利用した室内環境の整備
	床	・ 床組み＋床仕上げ改修
	内壁	・ 壁仕上げ改修 ・ シックハウス対策基準を満たした材料
建具	一般建具	・ 規格、種類の統一、更新（木製・軽量鋼製） ・ 安全性、耐久性に優れた材料を確保
	防火扉	・ 状況に応じて防火戸改修/金物交換、塗装改修 ・ 現行の建築基準法に適合する仕様

改修内容の整備水準(設備等)

部位		整備水準
設備	電気	・電気配線、配管の全面更新、受変電設備更新 ・ＬＥＤ照明、高効率空調（個別空調方式）、エネルギー制御など省エネルギー効果の高い機器 ・使用する器具の種別は最小限とし、維持管理の容易性を確保 ・照明点滅系統の細分化や人感センサー等の設置
	給排水	・屋外埋設部含む全面更新 ・トイレ床は乾式（塩ビシート）へ改修 ・洋式便器、節水型便器へ改修 ・トイレ手洗いは自動水栓へ改修
	昇降機	・状況に応じて更新又は部分改修
安全面		・緊急時に警察や消防等に通報する緊急通信設備 ・敷地内外の領域が不明確な部分の明確化（フェンス等） ・非構造部材の耐震化（書棚やロッカー等の転倒防止、壁掛式の放送機器などの落下防止対策など） ・屋内運動場は避難所としての機能を確保するため、窓ガラスへの飛散防止フィルムなど ・災害時に避難所として機能するよう災害に強い機械設備、電気設備を選定 ・バリアフリー改修（段差解消、多目的トイレの整備、階段手摺設置、スロープの整備など） ・職員室と各教室、体育館、プールなどをつなぐ校内連絡用のインターホン等の設置 ・児童、生徒の落下防止対策
教育環境		・余裕教室を活用する少人数学習への展開 ・普通教室、特別教室にＩＣＴ教材を使用するための整備 ・日射遮断性能、遮音性能の確保 ・加湿器による適切な湿度の確保 ・ＬＥＤ照明、高効率空調（個別空調方式）の導入【再掲】
その他	駐輪場	・職員数などに応じた駐輪スペースの確保
	プール	・排水環境の改善、循環器など衛生面の水質確保 ・付帯施設、プールサイド、プール槽の改修
	保健室	・簡易的な温水シャワー、汚物処理槽の設置
	休養室	・職員等の労働環境の向上
	その他	・各学校に応じた機能向上